

第59回市町村職員を対象とするセミナー
「介護給付の適正化に関する取組について」

【講演】 介護政策評価システムの活用に向けて

龍谷大学社会学部教授 池田 省三

平成18年11月22日

介護政策評価システムの活用に向けて

介護政策評価 支援システム



「介護政策評価支援システム」は、厚生労働省の補助事業として、地域ケア政策ネットワーク(C2P)が開発した給付分析ソフトです。データを入力すると、分析結果を自動的にグラフィック表示します。ほぼすべての市町村にご協力をいただき、都道府県には県内市町村の比較表も提供しています。

現在、本年度からの新しい給付体系に対応したシステムへのバージョンアップを進めており、来年にはさらに分析手法を高めたものを提供できる予定です。

龍谷大学教授 C2P研究主幹 池田省三

指標1 給付と保険料を考える

給付総額

介護サービス認定者数とサービス利用額によって決まる



第1号保険料

給付総額 $\times (0.19 \pm \alpha)$ \div 第1号被保険者数

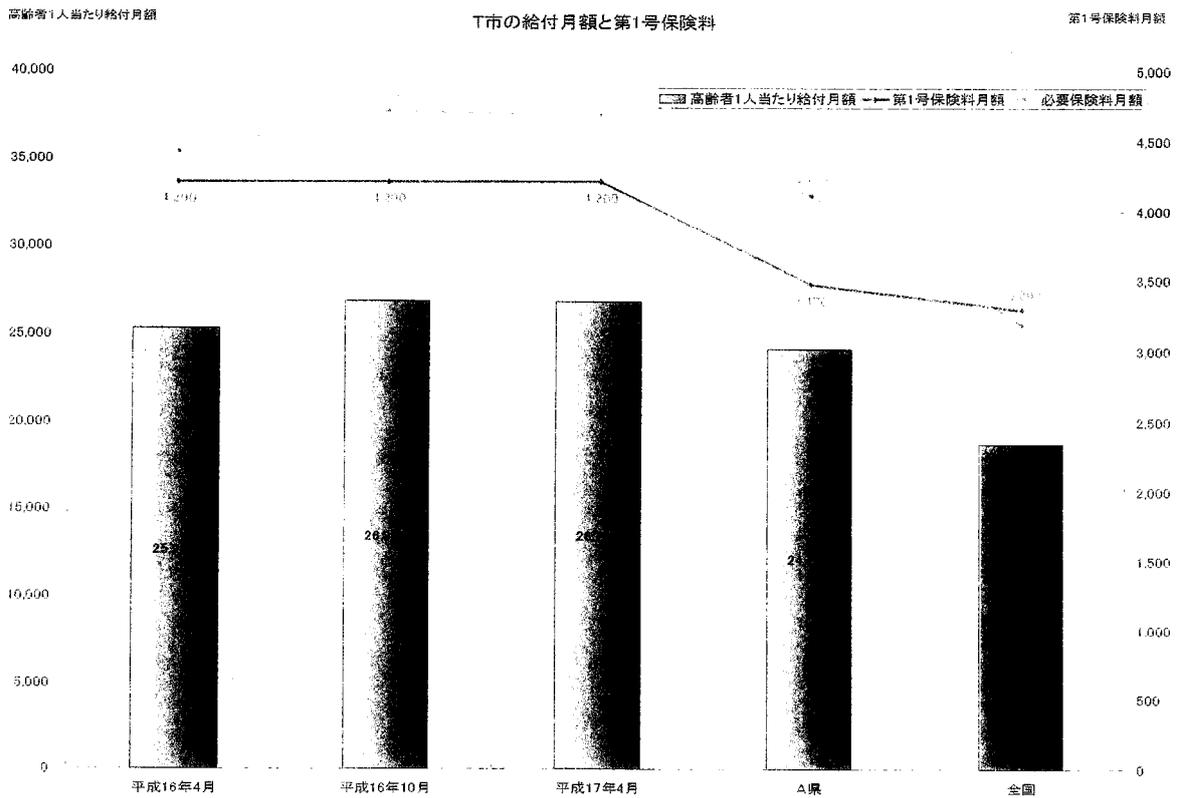
* $\pm \alpha$ は高齢人口に占める後期高齢者割合と高齢者の所得水準で決まる

給付が上昇すれば保険料は高騰する



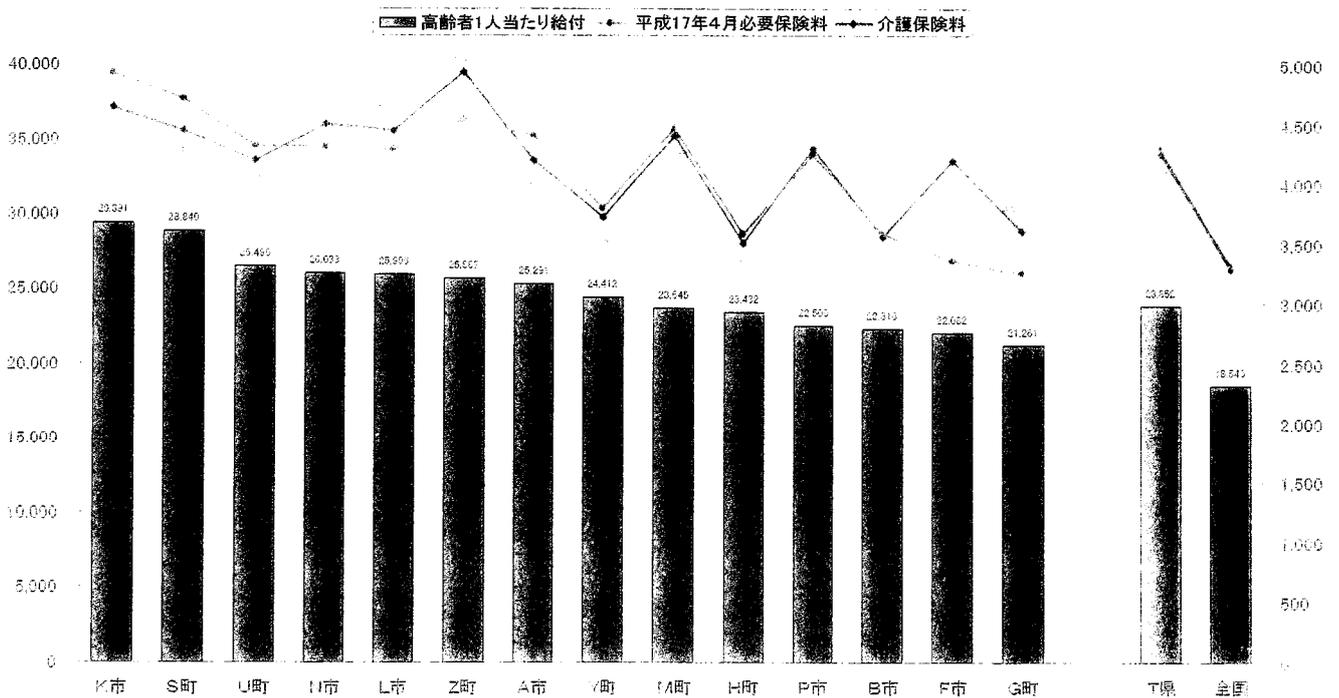
認定率・利用率と利用額の分析が必要

個別保険者の給付水準と必要な第1号保険料月額



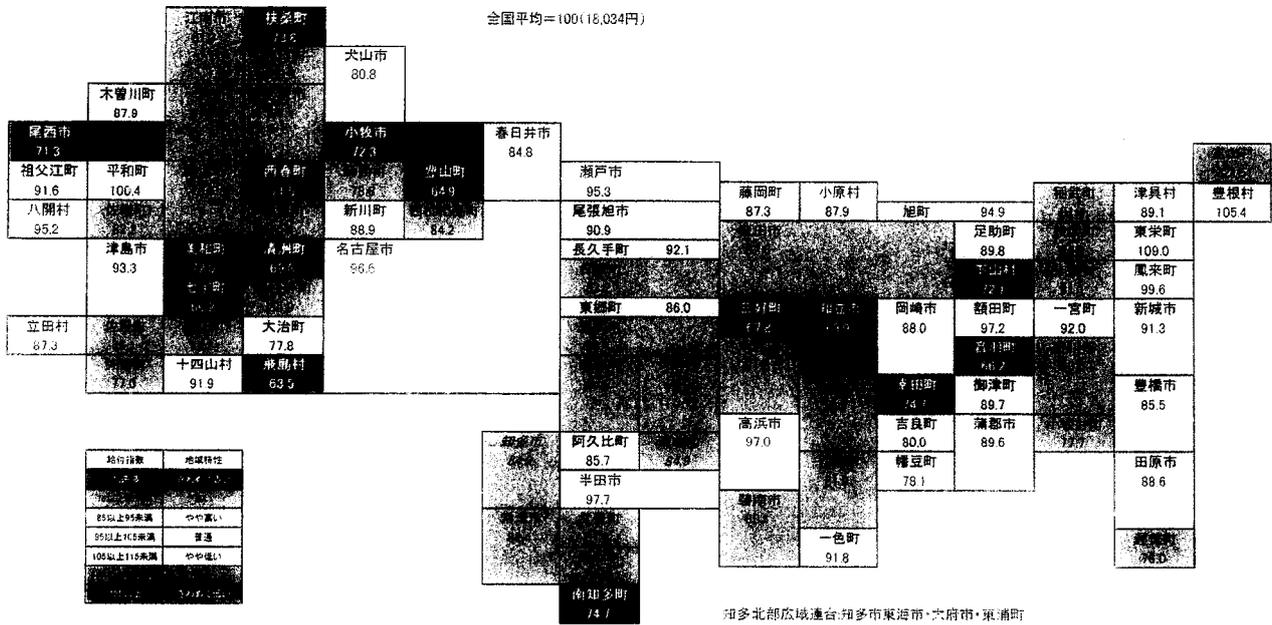
県内の保険者を比較する

高齢者1人当たり給付月額と保険料 平成17年4月



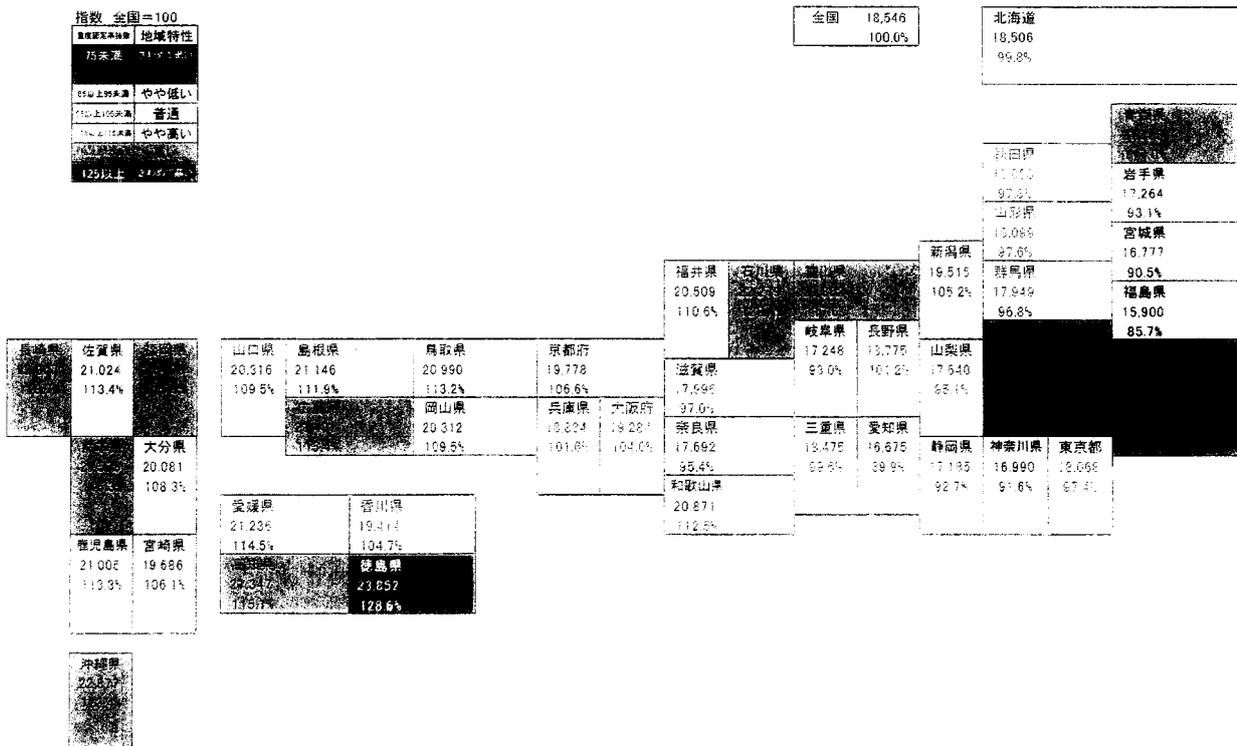
給付水準の地域的分布を見る

愛知県市町村の給付指数(平成16年度平均月額)



都道府県別に見る—給付水準は西高東低

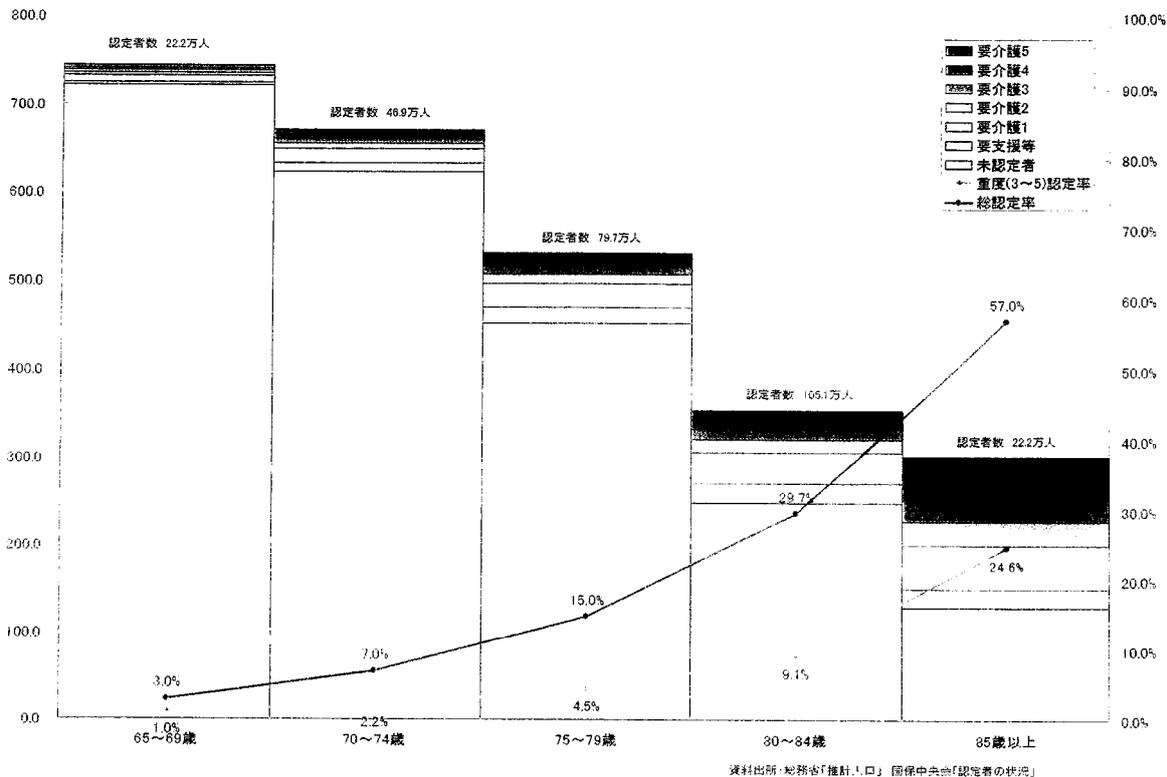
都道府県別・高齢者1人当たり給付月額 平成17年4月



指標2 認定率を分析する

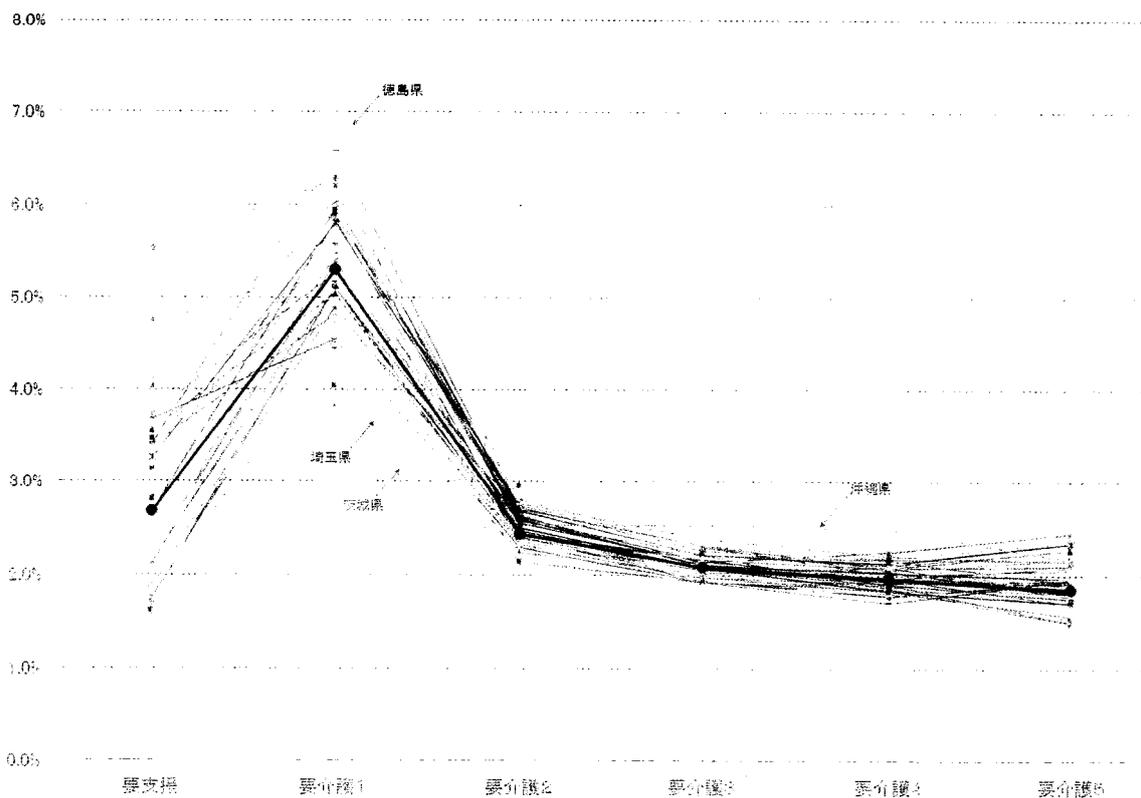
要支援等 22.2万人

年齢階層別・要介護度別認定者数と総認定率 平成18年4月



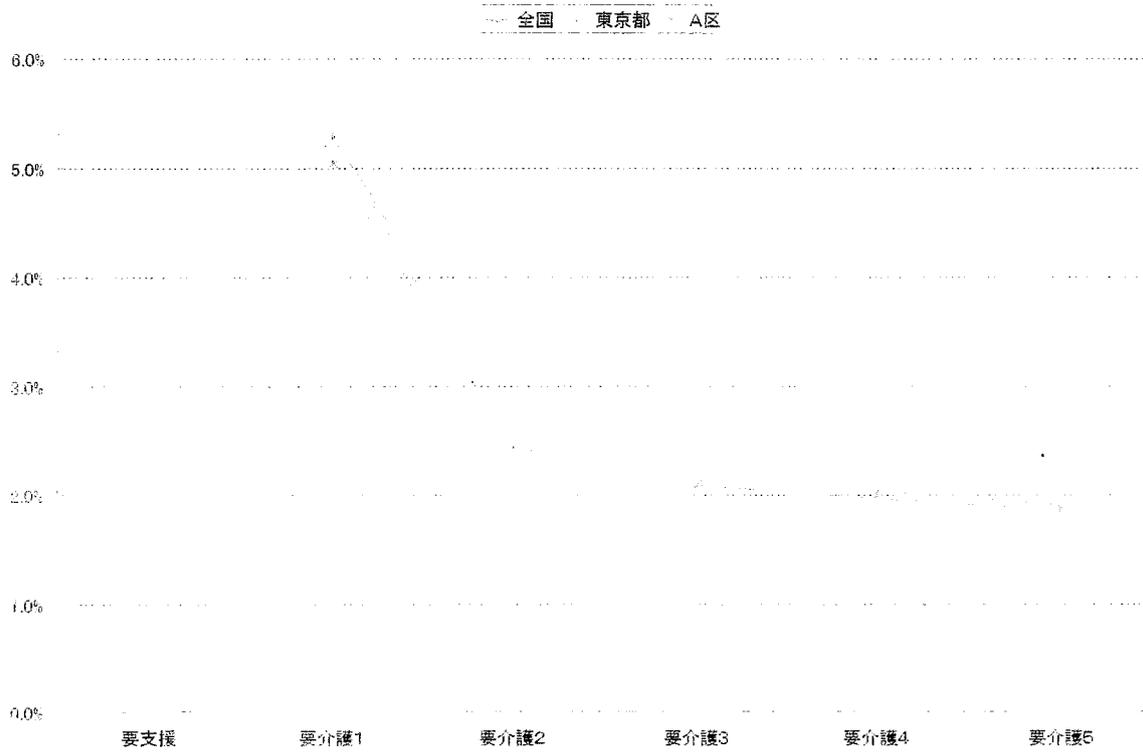
都道府県別に見た要介護度別認定率

都道府県別・要介護度別・総認定率 平成17年3月



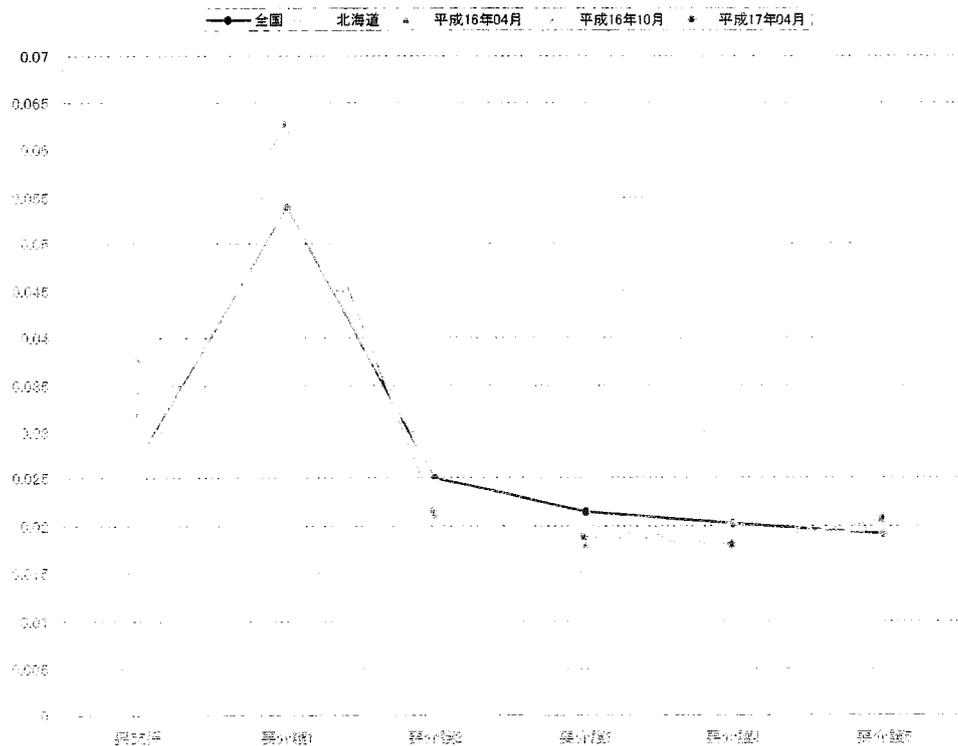
個別保険者の認定率を見る

A区の要介護度別認定率 平成17年3月



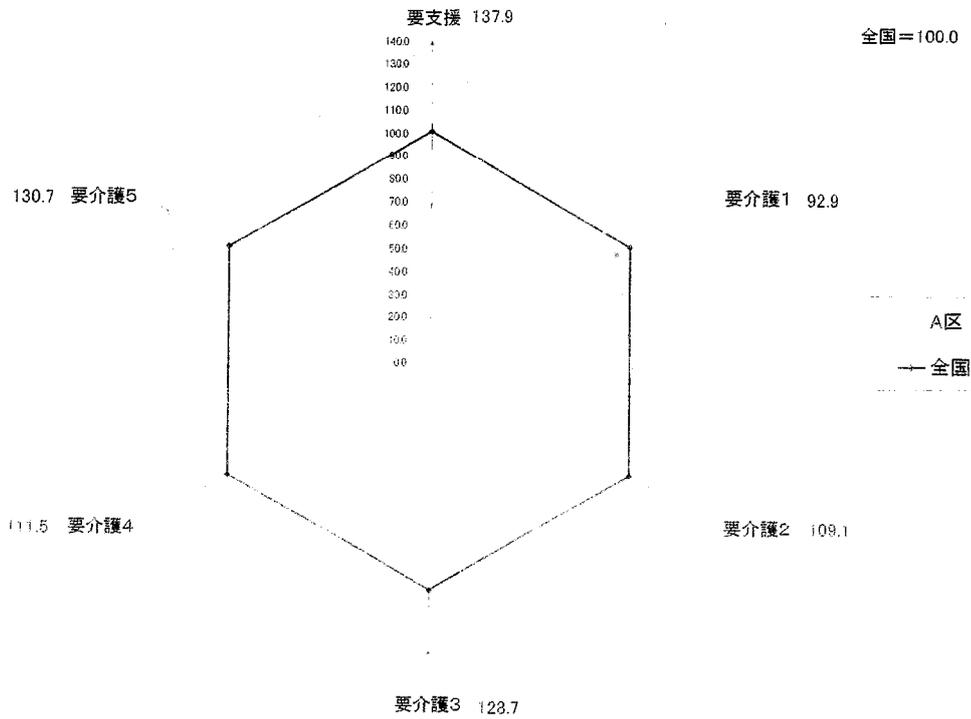
個別保険者の認定率を見る

要介護度別認定率の推移 T市



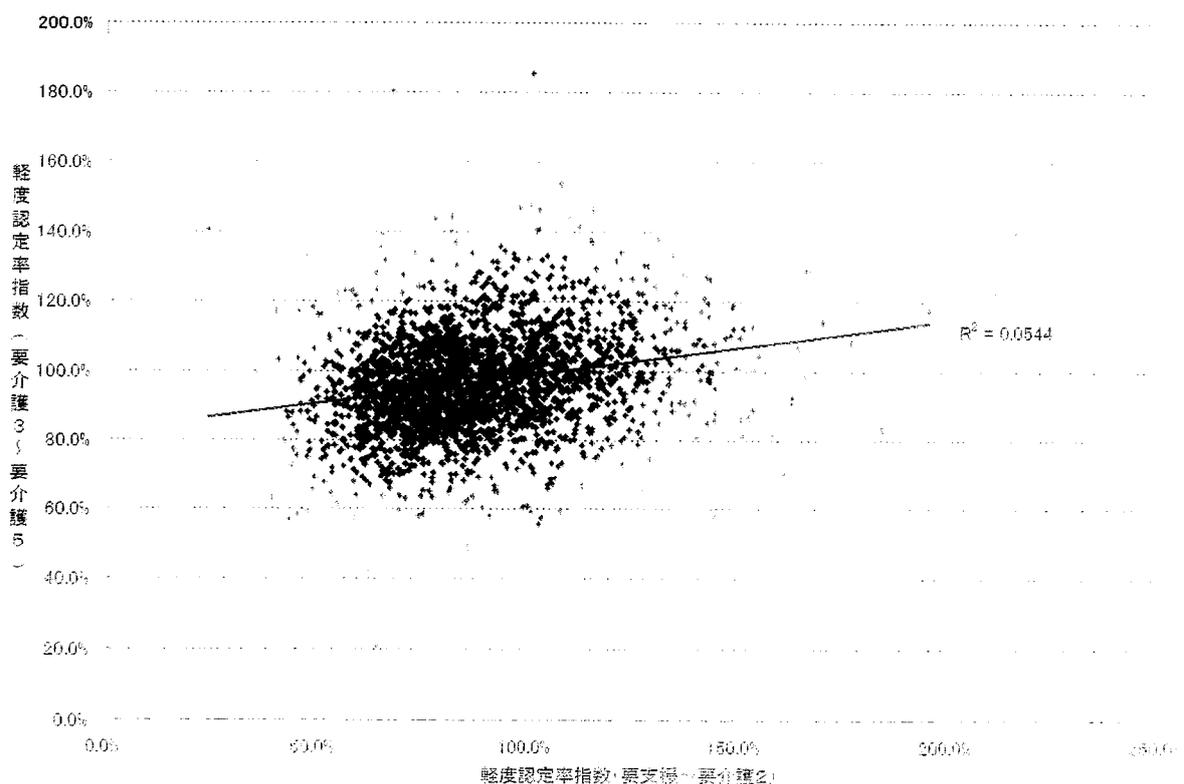
前期・後期高齢者数の割合で補正して見る

前期・後期高齢者割合で補正した要介護度別認定率指数 平成17年3月



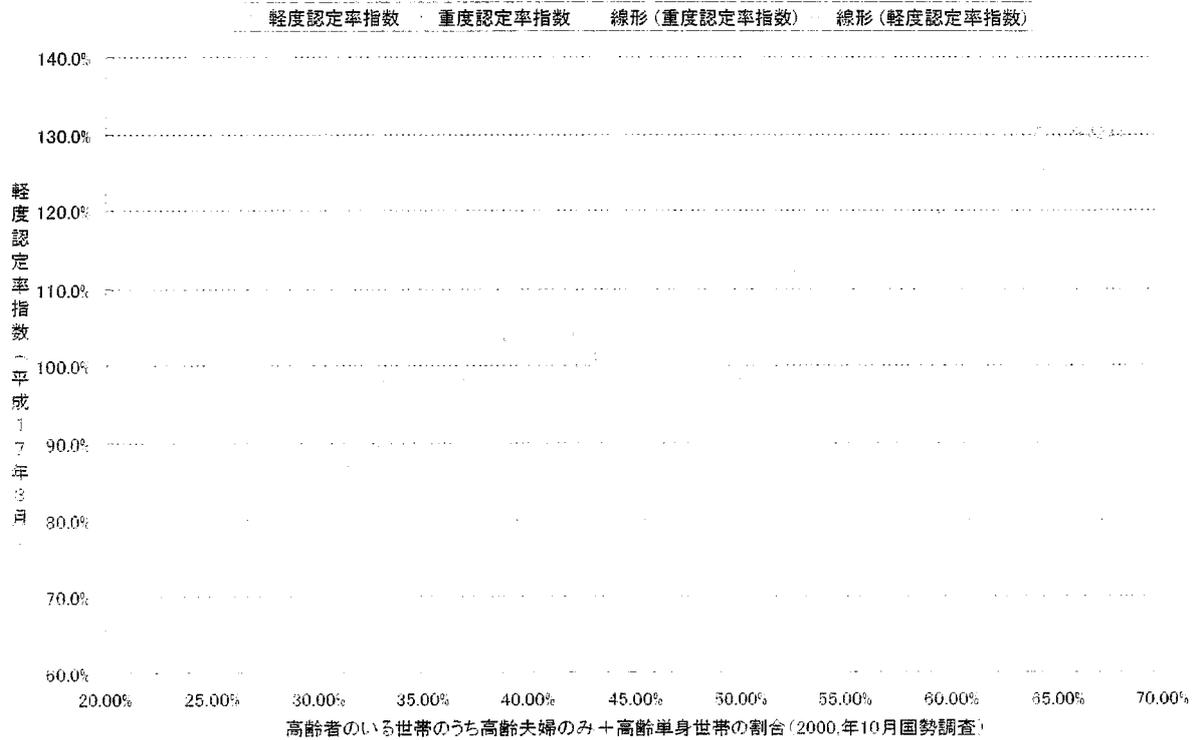
軽度認定率指数と重度認定率指数に相関関係は見られない

前期・高齢者数割合で補正した軽度・重度認定率指数の分布 平成17年3月



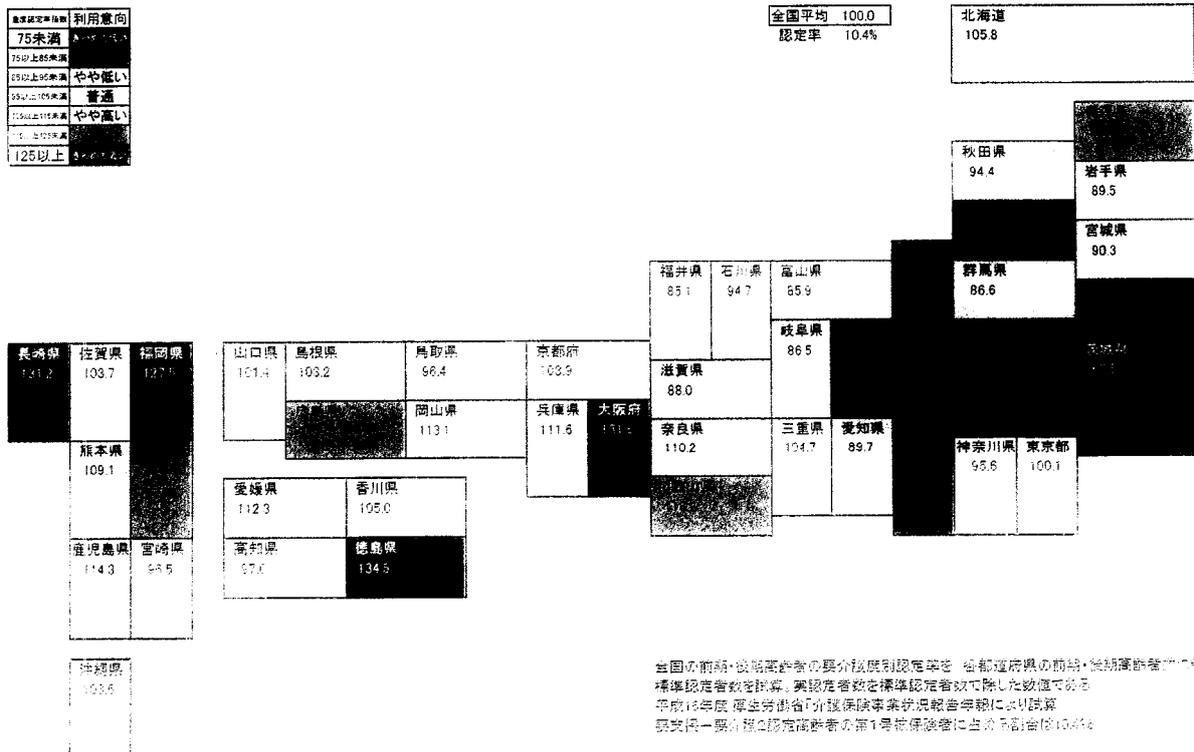
高齢者のみの世帯が多いと軽度認定率は上昇

高齢者のみ世帯と軽度・重度認定率指数 平成17年3月



軽度認定率はサービス利用意向度を示している

都道府県別・軽度(要支援～要介護2)認定率指数 平成17年3月
(サービス利用意向の度合い)



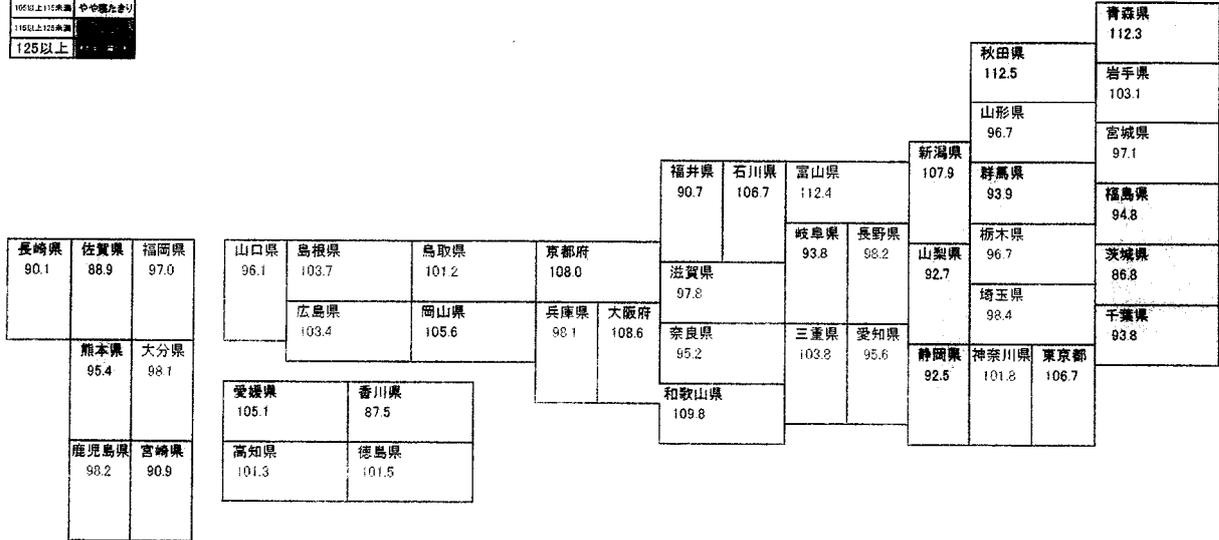
重度認定率は指数高齢者の元気度を示している

都道府県別・重度(要介護3～要介護5)認定率指数 平成17年3月
(高齢者の元気さの度合い)

重度認定率指数	元気度
75未満	元気
75以上85未満	元気
85以上95未満	やや元気
95以上105未満	普通
105以上115未満	やや弱々
115以上125未満	弱々
125以上	弱々

全国平均 100.0
認定率 5.9%

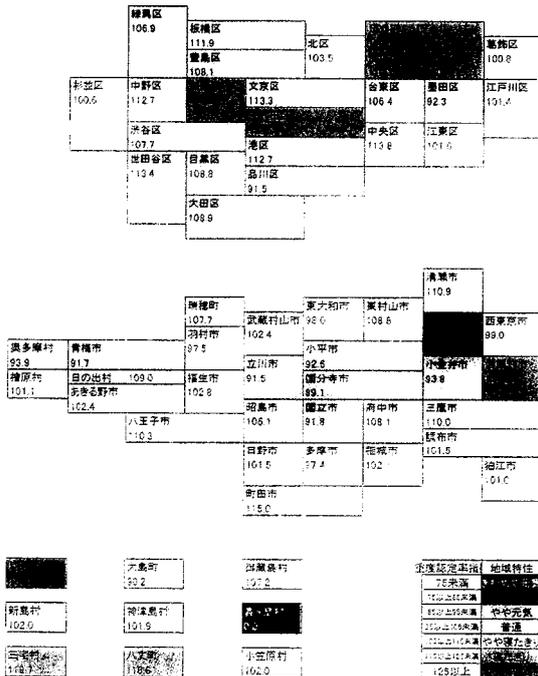
北海道 96.6



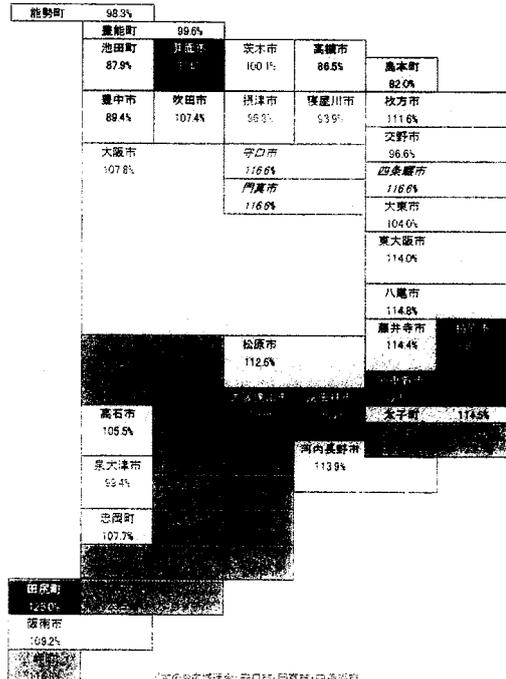
全国の前期・後期高齢者の要介護別認定率を、各都道府県の前期・後期高齢者数に基準認定者数を試算。実認定者数を基準認定者数で除した数値である
平成16年度厚生労働省「介護保険事業状況報告年報」により試算
要支援～要介護2認定高齢者の第1号被保険者に占める割合は5.9%

大都市部の高齢者は必ずしも元気ではない

東京都町村の重度認定率指数(平成17年3月)

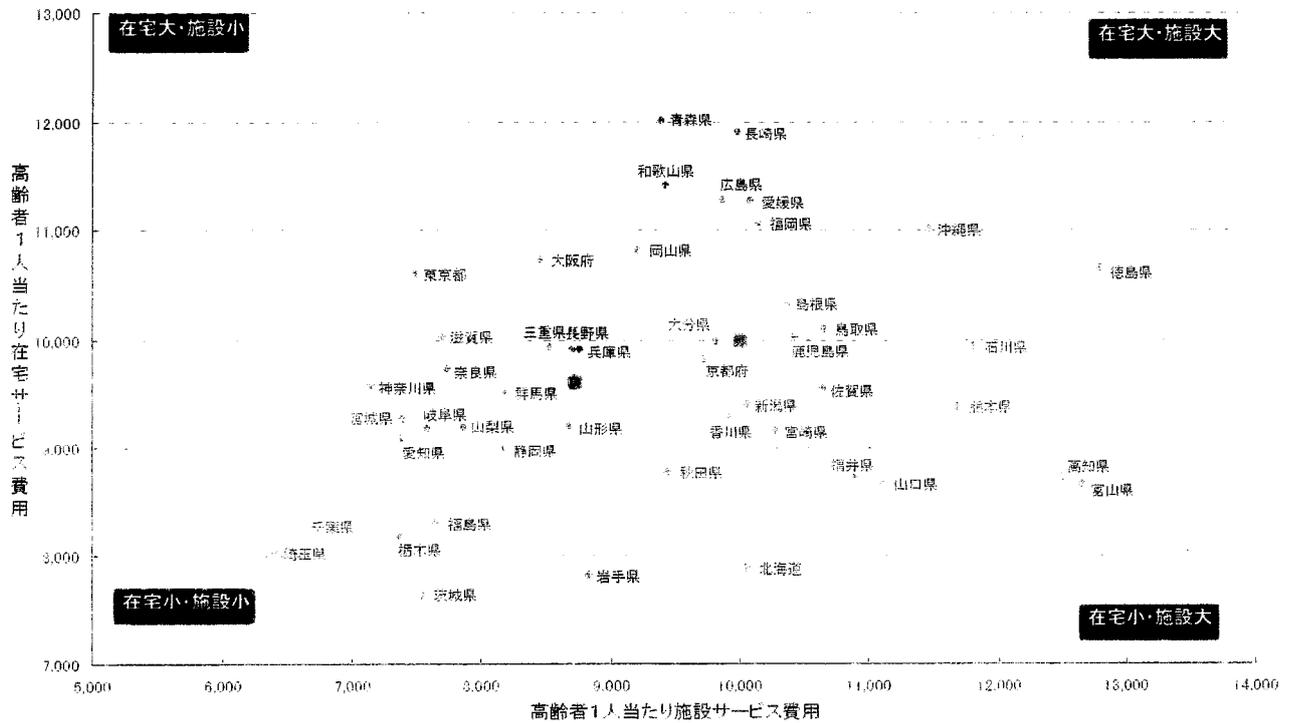


大阪府市町村の重度認定率指数(平成17年3月)



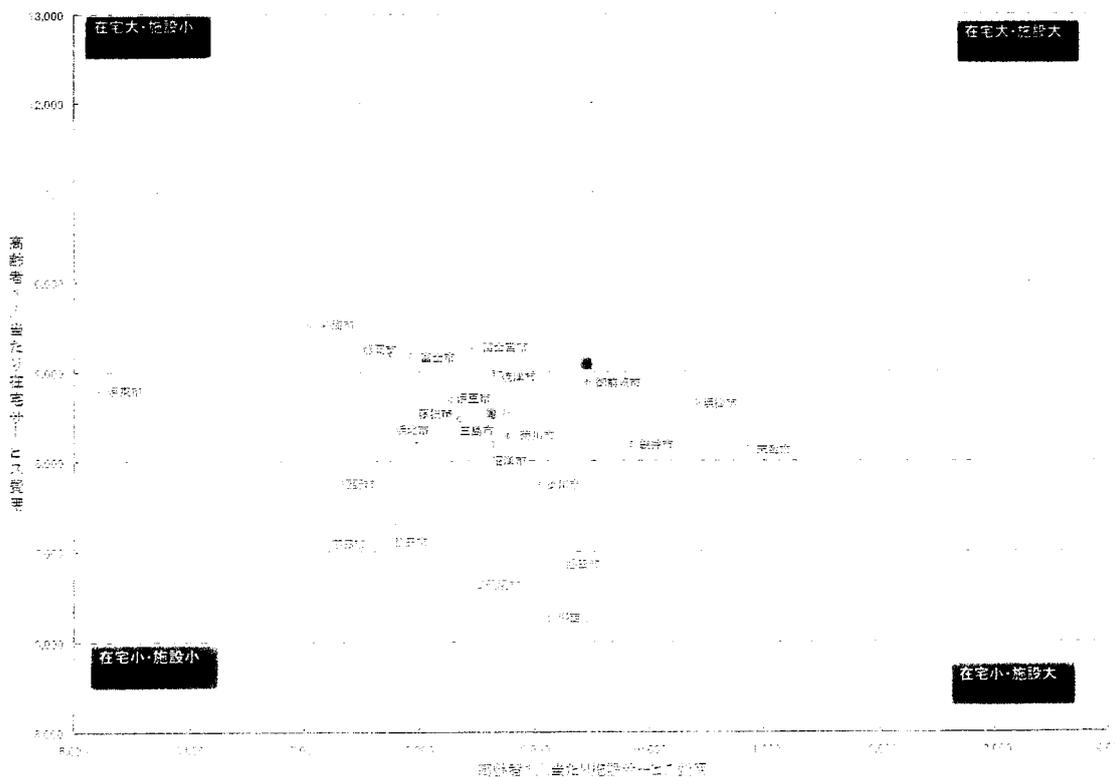
指標3 在宅・施設サービスのバランスを分析する

高齢者1人当たり在宅・施設サービス給付月額 平成17年10月



市町村別に在宅・施設サービスのバランスを見る

高齢者1人当たり在宅・施設サービス給付月額 平成16年度平均



サービス種類別に比較するー保険料最高額保険者

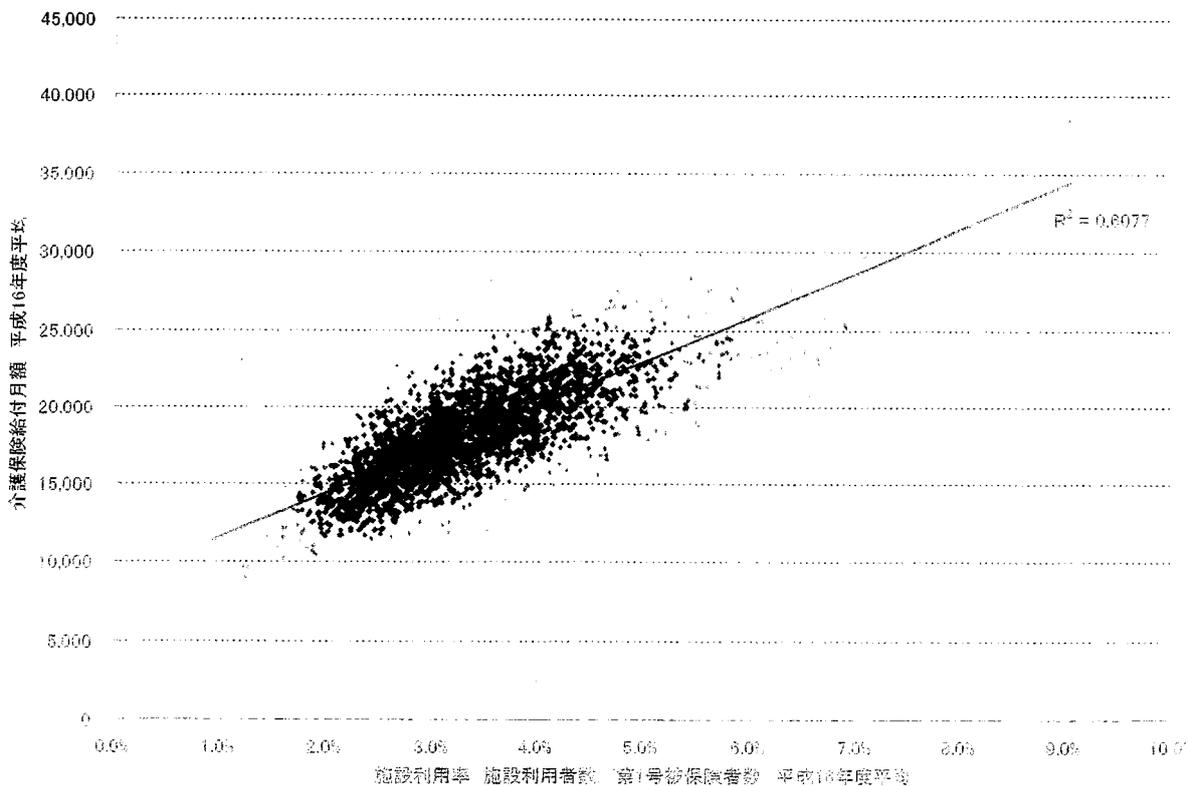
サービス種類別・高齢者1人当たり給付月額ー実額 平成17年4月

サービス種類別・高齢者1人当たり給付月額ー全国平均=100 平成17年4月



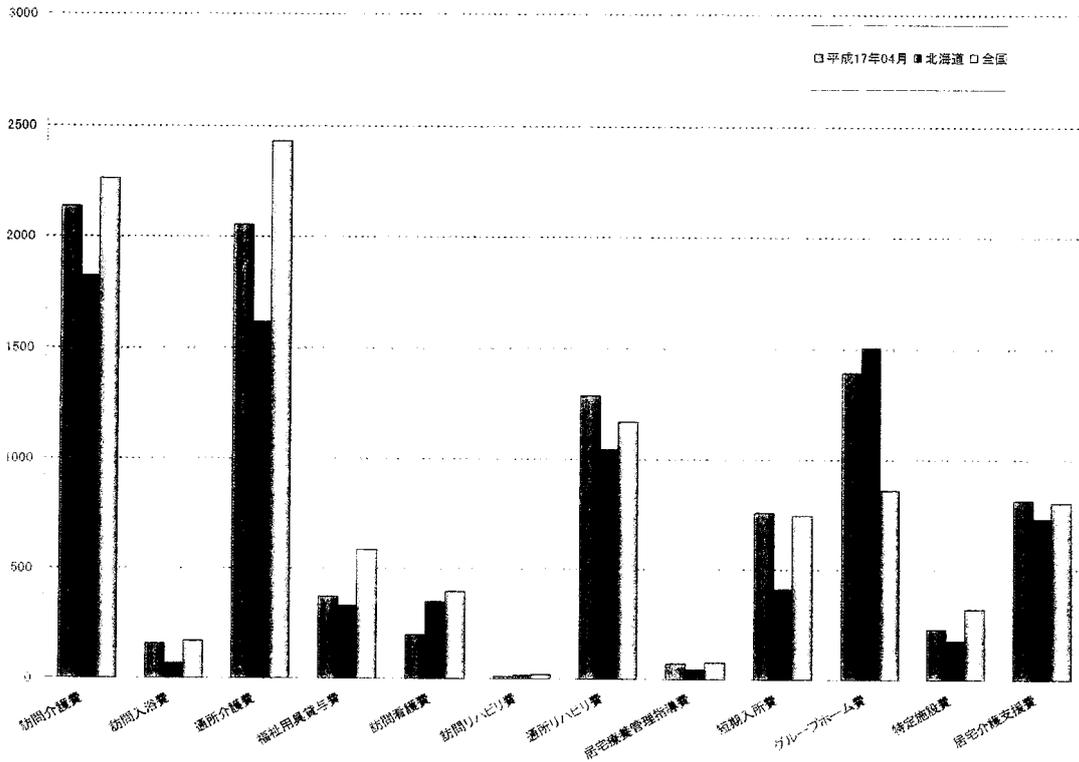
施設入所が給付・保険料を押し上げる

施設利用率と介護保険給付 全保険者 平成16年度



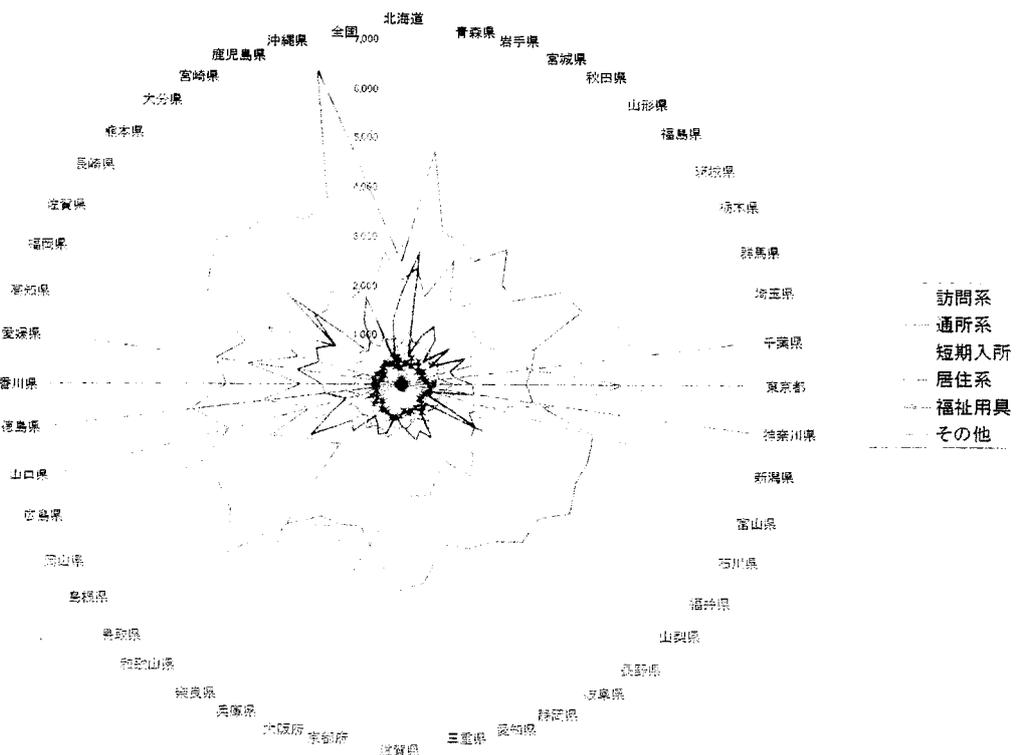
指標4 在宅サービスの利用状況を分析する

高齢者1人当たり種類別在宅サービス給付月額 H市



在宅サービス利用を種類別に見る(1)

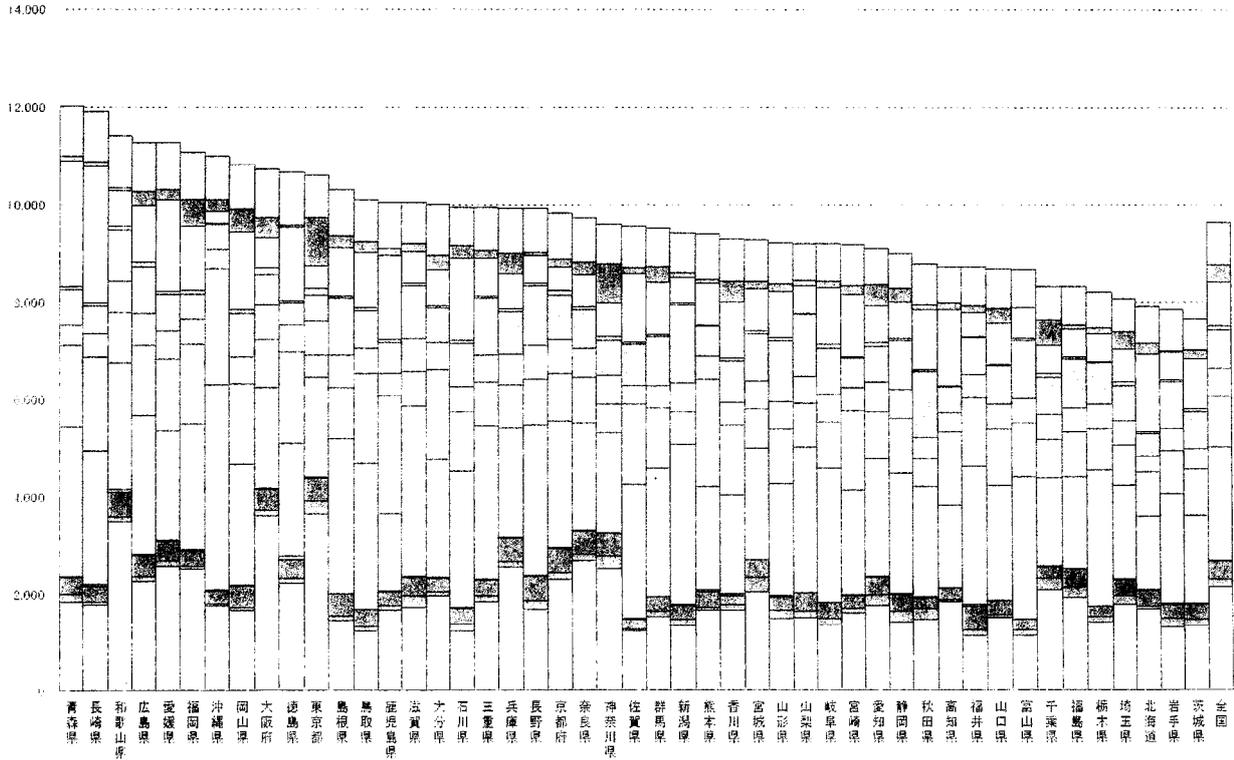
高齢者1人当たり種類別在宅サービス給付額 平成17年10月



在宅サービス利用を種類別に見る(2)

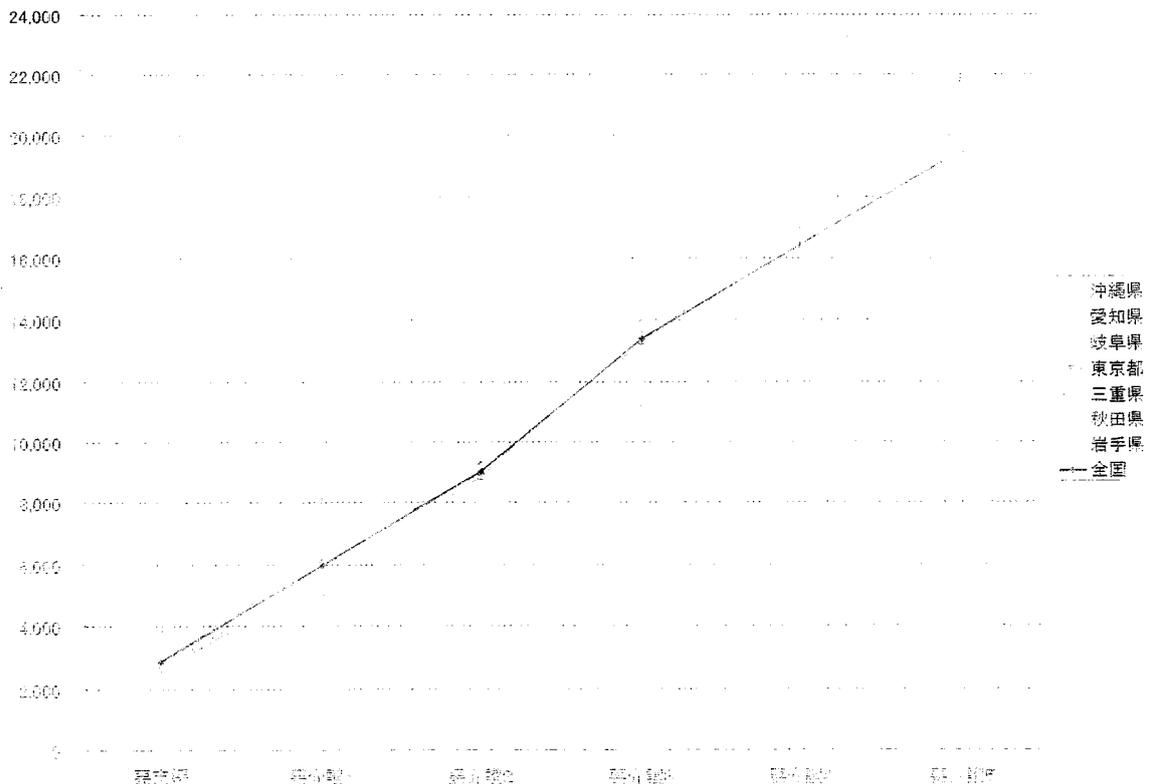
在宅サービス種類別給付月額 平成17年10月

訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 通所介護 通所リハビリテーション
 福祉用具貸与 短期入所サービス 居宅療養管理指導 グループホーム 特定施設入所者生活介護 居宅介護支援



要介護度別に在宅サービスの平均利用額を見る

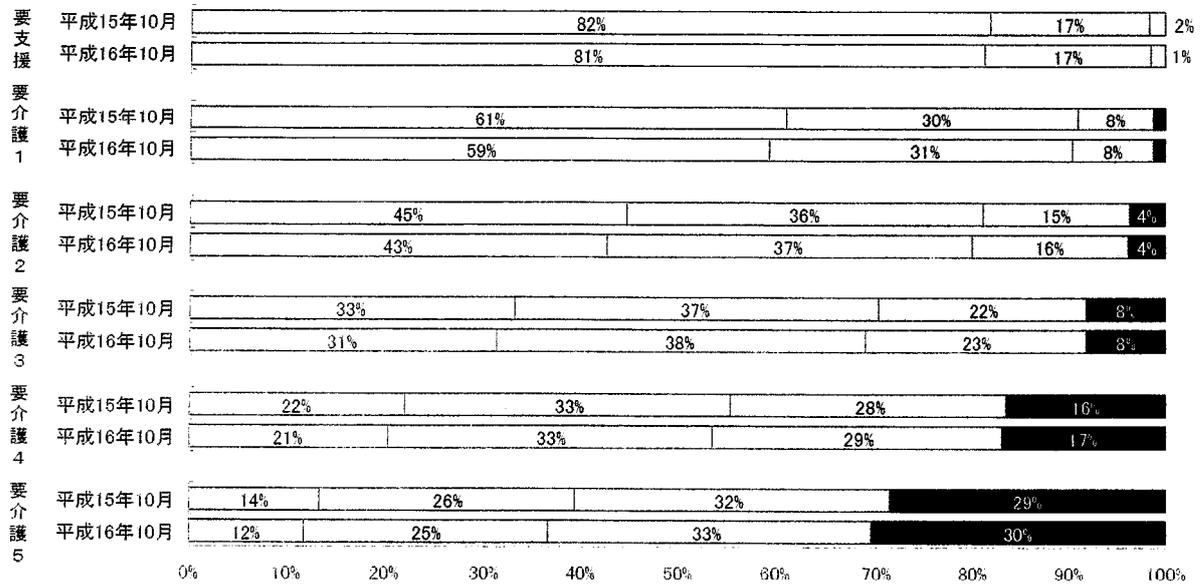
訪問通所・短期入所サービス利用者の平均利用単位数 平成17年10月



新指標 在宅サービスの質を分析する

要介護度別ケアプランの構成サービス種類数

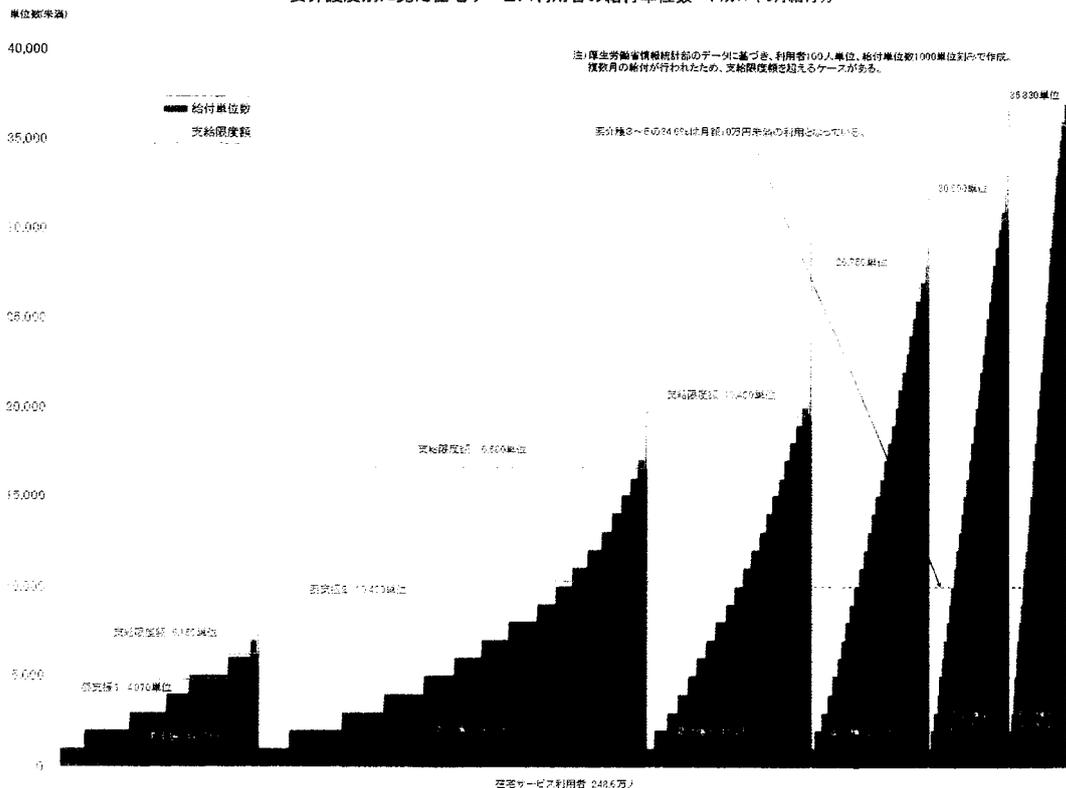
□ 1種類 □ 2種類 □ 3種類 ■ 4種類以上



資料出所：厚生労働省「介護給付費実態調査月報」平成15年11月審査分、平成16年11月審査分
ただし、平成15年11月分は数値が公表されていないので、グラフから推定した数値である。

要介護度別に在宅サービス利用額を見る

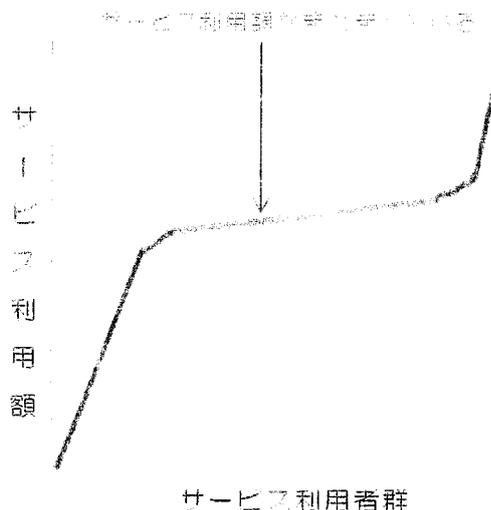
要介護度別に見た在宅サービス利用者の給付単位数 平成17年6月給付分



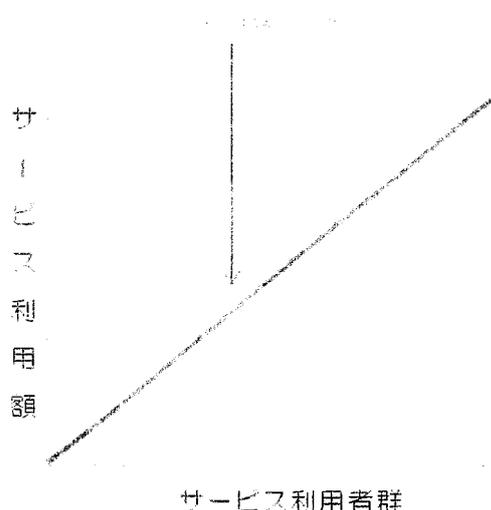
サービスプランがまったく標準化されていない

要介護度別在宅サービス利用額分布の曲線

サービスプランが標準化されている場合



サービスプランが標準化されていない場合



家族の支配下にある要介護高齢者

- 「在宅の介護時間は、その家族における家族構成員と高齢者の関係性によって任意に決定されて」おり、介護時間は「要介護度や高齢者の日常生活能力、痴呆症状の有無は関連していない」
- 「家族介護者が在宅で提供している介護時間が少ない者が、介護サービスの利用率が高いという傾向は見られず、家族による介護提供時間の長さを利用する介護サービスの利用量との間には関係性は見いだせなかった」

要介護度別在宅サービス利用額分布の曲線